

地域と農業を結ぶ、ふれあいと絆の発信源

# Agresh

2018. VOLUME.103

## あぐれっしゅ 10



ブランドネギ「ぼけしらす」  
順調な生育です！

特集 出向く指導体制と  
就農支援を強化  
創造的自己改革実践中！

「みんなのよい食プロジェクト」とは、  
これからの日本人にとって「よい食」  
とは何かを、日本の農家とJAグルー  
プ、消費者のみなさんと一緒に考えて  
考え、行動していく運動です。



### 腕 じ ま ん

地域じまんのモノ語り

旬の野菜で簡単レシピ

～身近な野菜で栄養補給～

ブランドネギ「ぼけしらす」、トマト、ピーマンなど。  
管内は夏秋野菜の収穫真っ盛りです。  
身近にある野菜を活用してみよう！



#### おすすめ料理

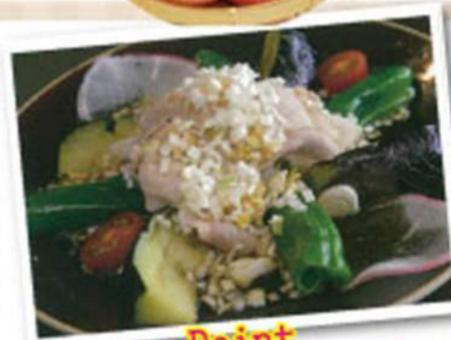
#### 豚ばらしゃぶのネギしょうゆ掛け

材料(3人分)

豚ばらしゃぶしゃぶ用	300g	ネギしょうゆだれ	
ナス	3本	濃い口しょうゆ	1/2カップ
ピーマン	3個	米酢	1/2カップ
長ネギ	2本	砂糖	1/2カップ
サラダ油	適量	ごま油	大さじ2
おろしショウガ	大さじ1		

作り方

- ① 長ネギはみじん切りにし、おろしショウガと共にボウルに入れておく。
- ② ナス・ピーマンを一口大に切り、180度のサラダ油で素揚げにする。
- ③ 鍋に湯を沸かし、豚ばら肉をさっと湯通しして、②と一緒に盛り付け、ネギしょうゆだれを回し掛ける。



#### Point

ネギしょうゆだれは、鶏肉や白身魚の唐揚げにもぴったり万能だれです。

JA広報通信より

#### ピーマンのしらす和え

◆ご飯のお供、酒の肴にもなります。

材料(2～3人分)

ピーマン	3個
しらす	30g
昆布の佃煮	15g

作り方

- ① ピーマンは薄い輪切り・昆布の佃煮を食べやすい長さに切る。
- ② ボウルに①としらすを入れてサッと混ぜ合わせる。

野菜ソムリエプロ 知久 幸子さん 提供レシピ

次回外務予定日 11/10(土)～14(水)

#### トマトの和風サルサソース

◆そのまま食べても！パケットにのせればおしゃれな食べ物に！

材料(作りやすい量)

トマト	Mサイズ2個	青唐辛子	1本
ネギ	1/4本	鶏つゆ	小さじ2 (3倍希釈)

作り方

- ① トマトはさいの目切り・ネギはみじん切り 青唐辛子は輪切り。
- ② ボウルに①の材料と鶏つゆを入れ、よく混ぜ合わせ冷蔵庫で1時間ほど冷やして出来上がり。

# 継承 × 人

大深内支店管内

おがさわら かずよし  
小笠原 和義さん(44)

## 農業を継ぎたい 息子のために

当JAのブランドネギ「ぼけしらず」の収穫、出荷作業に忙しくする。収穫は8月4日からスタート。母親や近所の人たちの手伝いを受けながら、多いときは日量70匁(5kg)、平均で50匁出荷する。和義さんは「良品質な仕上がりで安心している。前年より出荷数量も多い」と喜ぶ。出荷は10月いっぱい続く予定。「毎日コンスタントに出荷できるよう、しっかり栽培管理をしていきたい」と話す。

### 息子の思いがきっかけ

勤めを辞め、昨年5月に就農した。「将来農業をやりたい！」という小学6年生の息子の思いを知ったのがきっかけになった。

和義さんは「将来的に両親の農業を継ぐだろう」と思っていたものの、就農を決意するまで10年以上悩んだ。昨年のお目ざろえ会は父親と一緒に参加した。その父が今年3月に他界し「教えてもらいたかったことがたくさんあった。早く就農しておけば…」の後悔の念もあるという。

### 同世代と悩み共有

栽培管理は現在、母親が主導権を握る。和義さんは、当JAの「ねぎ育成塾」で栽培のノウハウを学んでいる最中だ。栽培で悩んだ時はJA指導員のアドバイスや先輩農家さんから聞く。今年は7月に雨の日が多く「いちよう病、なんぷ病の見極め、収穫前に行う防除のタイミングが難しかった」と振り返る。



取材日…9/19

ねぎ育成塾では、先輩農家の圃場を見て管理技術を学ぶことも多い。同世代が多いため、共通の悩みなどで会話も弾む。

### 良品質生産で規模拡大へ

産地と市場の信頼関係を築き、維持するには「安全で安心して販売できる良品質生産が大事」と考える和義さん。「将来、息子と一緒に農業を」の思いを胸に栽培技術を日々磨いている。

そして5年後、ネギと水稻の作付面積を倍に規模拡大することが目標だ。

プロフィール  
おがさわら かずよし 十和田市洞内  
組合員=本人  
家族構成/妻、子、母、弟家族  
農業経営/ネギ60%、水稻5%

## JA収穫祭開催 10/20(土) 21(日)

◆開催場所: JA十和田おいらせ本店 事務所・駐車場  
十和田市西十三番町4-28(官庁街通り)  
TEL.0176-23-0311

平成30年10月20日(土)午前10時~午後4時  
10月21日(日)午前 9時~午後3時

○ステージイベント ○農畜産物の消費拡大コーナー  
○農産物、加工品即売コーナー ○農産物共励会 ほか

10/20(土) 10:10~とわだこ中央保育園お遊戯  
10:40~白菊保育園踊り・和太鼓  
12:40~ 14:00~千葉学園・向陵高校バトン部  
おおちゃん&ハックルベリー 大道芸&パルーンアート



13:20~  
青山良平トークショー



14:40~  
桜田マコト&みくちゃん 凱旋ライブ

10/21(日) 10:00~ うっちゃんみかちゃんのラジオ  
公開生放送「県南おもしろ事件簿」



13:10~  
トリ☆ボン  
ステージショー



13:50~  
花吹ゆき美 歌謡ショー  
(野辺地町生まれ。  
第40回日本有線大賞新人賞受賞)

### ●ももいし支店・下田支店 合同

## おいらせ町秋の農業まつり開催

平成30年10月21日(日)午前9時~午後2時30分

◆開催場所: 縄文の森イベントホール  
(おいらせ町下田公園近く)

麻生しおり歌謡ショー 13:05~

○新米「まっしぐら(500g?)」  
先着200人にプレゼント  
○農産物共励会&販売 ○保育園の演舞  
○ミニセリ実演会 ○ビンゴ大会 ほか



### ●むつ支店 JAふれあい祭り

平成30年11月3日(土) 午前10時~午後3時  
11月4日(日)

◆開催場所: むつ市役所本庁舎開放エリア特設会場  
「むつ市地産地消運動協力店感謝祭」共催

○野菜・米、ペコ餅、鍋焼うどん(Aコープ商品)、醤油(農産加工)などを販売  
○大抽選会-ほか

### 特集 4~6p

出向く指導体制と就農支援を強化  
~創造的的自己改革実践中!~

#### 企画部

- ・JA収穫祭開催 10/20(土)、21日(日)
- ・ももいし・下田の2支店合同
- ・おいらせ町秋の農業まつり開催 10/21(日)
- ・むつ支店
- ・JAふれあい祭り11/3(土)、4日(日)・・・ 2p

### 継承人 表紙写真紹介

小笠原 和義さん(大深内支店管内)・・・ 3p

### あぐれっしゅ情報① ..... 7p

- ・米穀産産部  
平成30年産米「まっしぐら」500円上げ  
~生産者概算金決まる~
- ・指導やさい部  
こだわり野菜試して~小売にPR~

### NEWS&TOPIC 地域の話題 ... 8p

- ・祭りで農畜産物PR
- ・「まっしぐら」全量1等スタート
- ・JA共済アンパンマン交通安全キャラバン -ほか

### 笑顔きらめいて ..... 12p 子会社通信

### 頭の体操 パズル? ..... 13p

### information ... 14p

- ・消費税軽減税率制度に係る説明会開催
- ・冬の野めトクキャンペーン
- ・理事会だより ・子牛市場 ほか

#### 役員室のつぶやき

### 腕じまん

地域じまんのモノ語り ... 16p  
・旬の野菜で簡単レシピ  
~身近な野菜で栄養補給~

JAの概況 平成30年9月末日現在  
正組合員数/6,643人  
准組合員数/5,183人  
役員数/26人  
職員数(准職・嘱託含)/288人  
貯金高/784億7,549万円  
貸出高/150億7,571万円



# ① 営農指導事業 (農業の技術指導や経営支援など)

## 担い手パワーアップ・アクション

出向く指導体制を強化し、農家組合員の意見・要望等を吸い上げ、JA事業に反映させる訪問活動。

巡回チームは9支店1事業所に設置し担当者50人体制で、年間延べ5,000戸の農家組合員のもとに支店長や営農指導員が訪問しています。巡回内容は、水稻・畑作の栽培管理指導、ナガイモ・ゴボウの集荷推進、産地拡大対策事業(種子助成等)の周知及び作付推進、ニンニク・ニンジン・ダイコンの出荷督励など。月に一度、担当者を集めた会議で要望等を報告し合い共有し、全体で協議・検討をしています。さらに結果について部支店長・理事会に報告するなどJAでは農家の声は重要とし、できることは迅速に対応、事業に反映させています。

担い手パワーアップ・アクションに同行し、農家さんからJAの取り組みについてや、今後の期待などを聞いてみました。

### ◎ももいし支店管内の農家さんの声



生産農家 遠藤 忍さん(45) 写真中央

農業経営…ダイコン8畝  
ニンジン3畝  
ナガイモ2畝  
キャベツ1畝  
ゴボウ1畝

Q1 対話の内容は

病害虫対策、販売動向などの情報提供をしてもらい助かっています。作付面積をもっと増やしたいことや、JAの共通能力のアップ、受託作業の掘り取り機械の更新を相談、要望したりしています。

Q2

JAがあつて良かったと思うこと  
家族労働のため、収穫時期は自分たちでできる労力は限られます。JAの共通施設等の利用により助かっています。農家の高齢化が進むなか、JAの施設を活用することで生産が継続できています。産地の維持や発展、日々の生活のためにJAの存在は重要だと思います。

Q3 JAへの期待度は

現在のダイコン・ニンジンの共通施設の処理能力の拡大をして欲しいです。それに伴い生産農家の所得増大、意欲向上につながると思います。また管内産の農産物のブランド力アップで販売力を高めたいです。

### ◎大深内支店管内の農家さんの声



生産農家 小田 正喜さん(53) 写真左

農業経営…長ネギ1.8畝・ナガイモ4畝  
ニンニク1.3畝・大豆14畝

Q1 対話の内容は

「ニンニクの種はいつ頃くる?」「今の市場相場は?」「病害虫の対策はどうすれば良い?」など、現場で相談でき、忙しい時はとても助かります。JA側も農家の生産や組合員の状況を把握できると思います。

Q2

JAがあつて良かったと思うこと  
栽培面のほか転作奨励金の手続きなど、事務的なサポートをして助かっています。職員のあいさつが良く、支店でも気持ち良く買い物ができます。

Q3 JAへの期待度は

やさしい集荷対策金や肥料・農薬・ダンボール奨励金など、JAを利用すれば様々なメリットがあります。そのことをもっと前面にPRすれば、利用者増につながると思います。労働力の確保が難しく、サポートをお願いしたいです。



# 出向く指導体制と 就農支援を強化



## 特集 創造的自己改革実践中! シリーズ ①

JA十和田おいらせは「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」として、「農業所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つを基本目標とする「創造的自己改革」を実践中です! 組合員の願いやニーズに応えるために、多様な農業・地域の実態に応じて、自らの創意工夫に基づく多彩な事業と組織活動を展開し、「JA十和田おいらせがあつて良かった」と実感してもらえる組織を目指しています。

特集では、正・准組合員を対象に行うアンケート調査(平成31年1月頃実施予定)を見据え、  
①営農指導事業 ②農畜産物販売事業 ③生産資材購買事業に分け、3回シリーズで当JAの重点取り組みを紹介します。初回は①営農指導事業の「担い手パワーアップ・アクション」と「品目別育成塾」です。



## 「農業所得増大」「生産拡大」に向けた生産組織の主な活動

生産振興会(稲作・野菜・果樹・花き・畜産)は、生産技術を高めるための講習会、高品質や省力化に向けた比較試験などを行ない、産地及び担い手育成に取り組んでいます。活動支援として生産・協力の7組織に年間3,700万円を助成金として支出しています。



▲稲作の低コストと省力化に向けた水稻密苗実演会(稲作振興会)



▲飼養管理技術の向上、優良雌牛の保留選考を行なう子牛管理品評会(十和田市黒毛和種改良組合)



▲良品生産、栽培技術向上を目指すニンニク現地講習会(野菜振興会)

米穀畜産部

平成30年産米「まっしぐら」500円上げ～生産者概算金決まる～

当JAは農家に支払う平成30年産米の生産者概算金を9月14日の臨時理事会で決めた。JAでは販売力強化に加え、集荷対策として米施設の利用者に対する利用高還元などで、集荷数量37万俵を目指す。

全農あおもりは30年産米から「JA概算金」設定をやめたため、県内農協は独自の「生産者概算金」を決めることとなった。竹ヶ原幸光組合長は「今後、実需者との契約取引にあたり追加払いできるような有利販売に努めたい」と話す。

◆水稲うるち玄米(JA米/1等級) (1俵当たり円/60%・税込)

銘柄	概算金額	前年対比	全農との比較
まっしぐら	12,000	500	-
つがるロマン	12,200	500	-
あきたこまち	12,000	500	1,000
ほっかりん	12,000	500	1,000

◆水稲もち玄米(JA米/1等級) (1俵当たり円/60%・税込)

銘柄	概算金額	前年対比
全銘柄JA米	8,500	2,000

◆加工用米(JA米/1等級) (1俵当たり円/60%・税込)

銘柄	概算金額	前年対比
水稲うるち玄米	9,000	1,000

◆備蓄米(JA米/1等級) (1俵当たり円/60%・税込)

銘柄	概算金額	前年対比
水稲うるち玄米	12,000	1,000

利用量に応じた料金還元

利用メリット還元…カントリー・ライスセンターに出荷した出荷契約米、備蓄米、加工用米、新規需要米に対し利用量に応じて還元する。

施設	区分	200俵以下	201～400俵	401～600俵	601～1,000俵	1,001俵以上
		(税込)	(税込)	(税込)	(税込)	(税込)
カントリー・ライスセンター	個人	100円	120円	150円	250円	350円
	営農組合	100円	140円	200円	250円	350円

\*ただし、乾燥粉で搬入した場合は、上記還元単価の1/2とする。

◆平成29年産米仮精算について(JA米) (1俵当たり円/60%・税込)

銘柄	等級	概算金額	概算金追加払い	仮精算	合計精算金額
まっしぐら	1等	11,500	1,000	800	13,300
つがるロマン	1等	11,700	1,000	800	13,500
もち米 全銘柄	2等	5,900	0	3,000	8,900

仮精算の支払日：平成30年9月21日(金)※臨時理事会(9/14)資料より



指導やさい部やさい販売課(販売促進)

こだわり野菜試して～小売にPR～

当JAは9月8日、イトーヨーカドー青森店で県産の農林水産品をPRする「青森県フェア」に参加した。旬の野菜を販売し、十和田おいらせミネラル野菜(TOM-VEGE)をPRした。

県主催の「青森フェア」は7年目。イトーヨーカ堂との情報交換会では、三村申吾県知事、JA全農あおもりの他、県内の農家、漁協ら11団体が、販路拡大に向けて産地を紹介。当JAの斗澤康広営農経済担当常務は「土壌診断を実施し、畑一つ一つの健康な土作りから美味しさと良品質につなげている」とバイヤーにアピールした。

5日間のフェアでは、長ネギ「ぼけしらす」、トマト、ピーマンなど7品目を販売した。



バイヤーに産地PRする斗澤常務



「十和田おいらせミネラル野菜」をPRした販売ブース



品目別育成塾

達人農家から生産技術を学び、産地をけん引できるプロの生産者を育成。



塾生に種芋の選び方を指導する寺澤部会長

品目に特化して営農の専門知識を学ぶ品目別育成塾と経営感覚を学ぶマネジメントスクールの「両輪」でプロ農家の育成を進めています。ナガイモから始まった品目別は、ニンニク、ゴボウ、ネギ、ピーマンに拡大し、5品目で102人が参加。マネジメントスクールでは、専門講師から経営者の心構えや経営管理の重要性を学びます。スムーズな技術継承と若手農家の収益性をJAが後押しすることで、就農者の定着につながり、地域の農業基盤を底上げしています。



JA指導員による  
催芽技術の勉強会

ナガイモ収量15%増

「匠(たくみ)」と呼ばれる優秀な農家が若手農家を技術指導



「ながいも育成塾」で指導する、JAながいも部会の部会長・寺澤和夫さん(55)の圃場では、「農業は何回散布しますか」「効率良く収穫する方法は」など、塾生が質問します。塾生は寺澤さんの一言一句に真剣な表情で耳を傾けています。寺澤部会長は自らの体験から「他人の圃場を見ることで視野が広がった。育成塾ではそれができる。若いうちに正しい知識と技術を学んで欲しい」と意識向上を訴えます。

JAの調査によると、ながいも育成塾に参加した若手農家のいる経営体では、塾開講前の平成23年と比べ、28年の収穫量は全体で15%増となっています。JAでは「塾での技術指導が要因の一つだろ」と分析しています。

◎参加塾生の声

十和田市の30代塾生は開講当初から育成塾に参加。ナガイモを2畝栽培し「種芋の選別を意識することを教えてもらった。それによって収量は1、2割増えた」と振り返ります。塾を通じて同世代の農家と情報交換する機会も増え、「育成塾に参加してプラスしかなかった」と話します。

資料…日本農業新聞・全国版(改革最前線・就農支援)に掲載

	開講年	塾生数(人)		開講年	塾生数(人)
ながいも育成塾	平成23年	30	ねぎ育成塾	平成29年	21
次世代にんにく塾	平成25年	32	ピーマン塾	平成29年	5
ごぼう職人育成塾	平成29年	14	マネジメントスクール	平成29年	12

平成30年4月1日現在

品目別育成塾、マネジメントスクールは、塾生を随時募集しています。問い合わせ等は、指導やさい部(0176-23-0339)が各支店の営農担当まで。